

平成26年9月5日(金)

老球の細道57号

バスケットボール誕生秘話 (II)

「13ヶ条のルール」

会津バスケットボール協会理事長 室井 富仁

1981年12月21日(月曜日)、アメリカ東部時間午前11時30分～午後12時30分。マサチューセッツ州スプリングフィールドの国際YMCAトレーニングスクールの体育館で史上初のゲームが行われた。(閑話休題。ネイスミス博士は自分の三女が12月21日に誕生したことで大喜びしたという)

ゲームを考案したジェームス・ネイスミスは18人の学生にルールを説明した。世に言う「13ヶ条のルール」である。簡単に説明すると次の通りである。

- 1・ボールはサッカーボール。片手、両手を使用し、どの方向にパスしても良い。
 - 2・ボールをこぶしでたたいてはいけない。
 - 3・プレーヤーはボールを持っては走れない。ボールをキャッチした地点からパスしなければならない。かなりのスピードで走っている時にボールをキャッチした場合、ストップしようと努力していれば、1, 2歩は許される。
 - 4・ボールは両手で保持。腕や体はダメ。
 - 5・相手を小突いたり、捕まえたり、押ししたり、つまずかせたり、たたいたりすることはダメ。1回目のファールは1個と記録。2回目からは次のゴールが成功するまで退場。故意に相手を傷つけた場合は、ゲーム終了まで退場。
 - 6・第2、3、4、5条で述べたことに1回違反を犯すごとに1個のファールとする。
 - 7・両チームのどちらかが連続して3回のファールをした場合、相手チームに1ゴール。
 - 8・ボールがスロー、あるいはタップされてバスケット内に入ればゴール成功。ボールがバスケットの縁に止まったり、ショットした時に相手がバスケットボールを動かしたりした場合もゴール成功。
 - 9・ボールがコート外に出た場合は、その後に最初にボールを保持したプレーヤーなら誰でもスローインできる。わからない場合は副審がその位置からコート内にスローイン。スローインは5秒以内。スローインの時にゲームを遅らせようとした場合は、そのチームにファールを宣告。
 - 10・副審はファールを記録し、連続3回の時に主審に知らせる。主審は5条によってプレーヤーを失格させることができる。
 - 11・主審の役割は、ボールをめぐるプレーの判定、インバウンズ、インプレーの判断、競技時間を計る、ゴールの正否を判断する。
 - 12・競技時間は15分ハーフ。5分のハーフタイム。
 - 13・ゴールの成功の多い方が勝ち、同点の場合は次のゴールが成功するまでゲームを続行。
- 以上のルールでプレーが始まった。ただひたすらボールを奪い合ってパス、パス・・・。なにしろ、第3条「ボール保持者は走ってはいけない」から。それに、ドリブルもピボットもまだ誕生していなかったのである。

ちなみに、昨年、ネイスミス博士のお孫さん(カンザス大学OB)が、この「13ヶ条のルール」の原本を競売にかけたら433万ドル(約4億円)の値がついたという。